

大震災・復興ニュース(第140報)

平成25年12月26日

仙台地方振興事務所水産漁港部

1 水産業復旧・復興に向けた対応状況(国及び県全体の動き)

宮城県内の水産物の放射性物質測定結果について

- 1 測定年月日 平成25年12月20日～12月24日
- 2 測定分析機関 いであ(株),(公財)海洋生物環境研究所,(一財)宮城県公衆衛生協会,(一財)九州環境管理協会,(一財)日本冷凍食品検査協会。

3 測定結果

すべての検査品目について、基準値を下回り、安全性に問題のないことが確認されました。

水産物(採取日 平成25年12月15日～12月19日) (単位:ベクレル/kg)

種別	採取場所	放射性セシウム	種別	採取場所	放射性セシウム
カキ	追波湾(養殖)	不検出	ウバガイ	亘理吉田地先	不検出
カキ	雄勝湾(養殖)	不検出	カキ	石巻湾東部(養殖)	不検出
カキ	女川湾(養殖)	不検出	カキ	荻浜湾(養殖)	不検出
カキ	気仙沼湾(養殖)	不検出	カキ	石巻湾中央部(養殖)	不検出
カキ	小泉・伊里前湾(養殖)	不検出	カキ	石巻湾西部(養殖)	不検出
カキ	志津川湾(養殖)	不検出	カキ	松島湾(養殖)	不検出
ヒラメ	鮎川～金華山	不検出	ヒラメ	田代島沖	不検出
マダラ	宮城県沖	3.3	マアナゴ	宮城県沖	0.56
乾ノリ	七ヶ浜地先(養殖)	不検出	ワカメ	七ヶ浜地先(養殖)	不検出

アユの出荷制限の指示の一部解除について

- ・平成25年6月27日付けで出荷制限が指示されていたアユ(養殖を除く。)について、平成25年12月25日付けで、下記のとおり一部水域で解除されました。なお、宮城県内の阿武隈川(支流を含む。ただし、白幡堰堤の上流を除く。)については、引き続き出荷制限の対象になります。

出荷制限解除の内容

対象魚種	対象水域
アユ(養殖を除く。)	宮城県内の阿武隈川(支流を含む。)のうち、白幡堰堤より上流の白石川(支流を含む。ただし、七ヶ宿ダムの上流を除く。)

2 管内の復興に向けた動き

サケの稚魚がふ化しています

- ・現在、管内のサケふ化場では、稚魚がふ化し始めています。当部管内には、鳴瀬吉田川、広瀬名取川、阿武隈川の3水系があり、全部で7カ所のふ化場でサケが飼育されています。これらの稚魚は、サケ資源を守るために放流することを目的として飼育されているもので、今年も9～12月に河川に遡上した

親サケから卵を採取して大切に育てられてきました。

現在稚魚は、卵からふ化して、成育の早いものでは池の中を泳ぎ始めており、ふ化場によっては稚魚に餌を与えはじめたところもあります。このうち、広瀬名取川水系の郡山ふ化場では、給餌にはまだ早いものの、浮上した稚魚が飼育池内を元気に泳いでいました。

稚魚への給餌は、およそ1ヶ月間続けられ、早いものでは2月中に放流が行われる予定です。



↑
元気に泳ぐサケの稚魚。
体長は3cmほどです。



清掃などが行われ、稚魚が大切に育てられています。



塩釜漁港の岸壁利用について

・“三陸塩竈ひがしもの”の陸揚げもピークが過ぎ、塩釜漁港はやや落ち着きを取り戻して参りました。復旧工事との調整を図りながら、魚市場等関係者の皆様と相談の結果、平成26年3月末までの係船可能岸壁は下図のとおりとなりました。

関係の皆様には、しばらくの間ご不便をお掛けいたしますが、ご協力をお願いいたします。

